

（1）第3回第7次NACCS更改専門部会の結果報告



2021年10月14日
輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

2021年2月26日に公告した「第7次輸出入・港湾関連情報処理システム（第7次NACCS）の構築等一式」については、以下のとおり開発事業者が決定しました。

- ① **調達件名** : 第7次輸出入・港湾関連情報処理システム（第7次NACCS）の構築等一式
- ② **開発事業者** : 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ

(1) 調達対象外とした検討課題

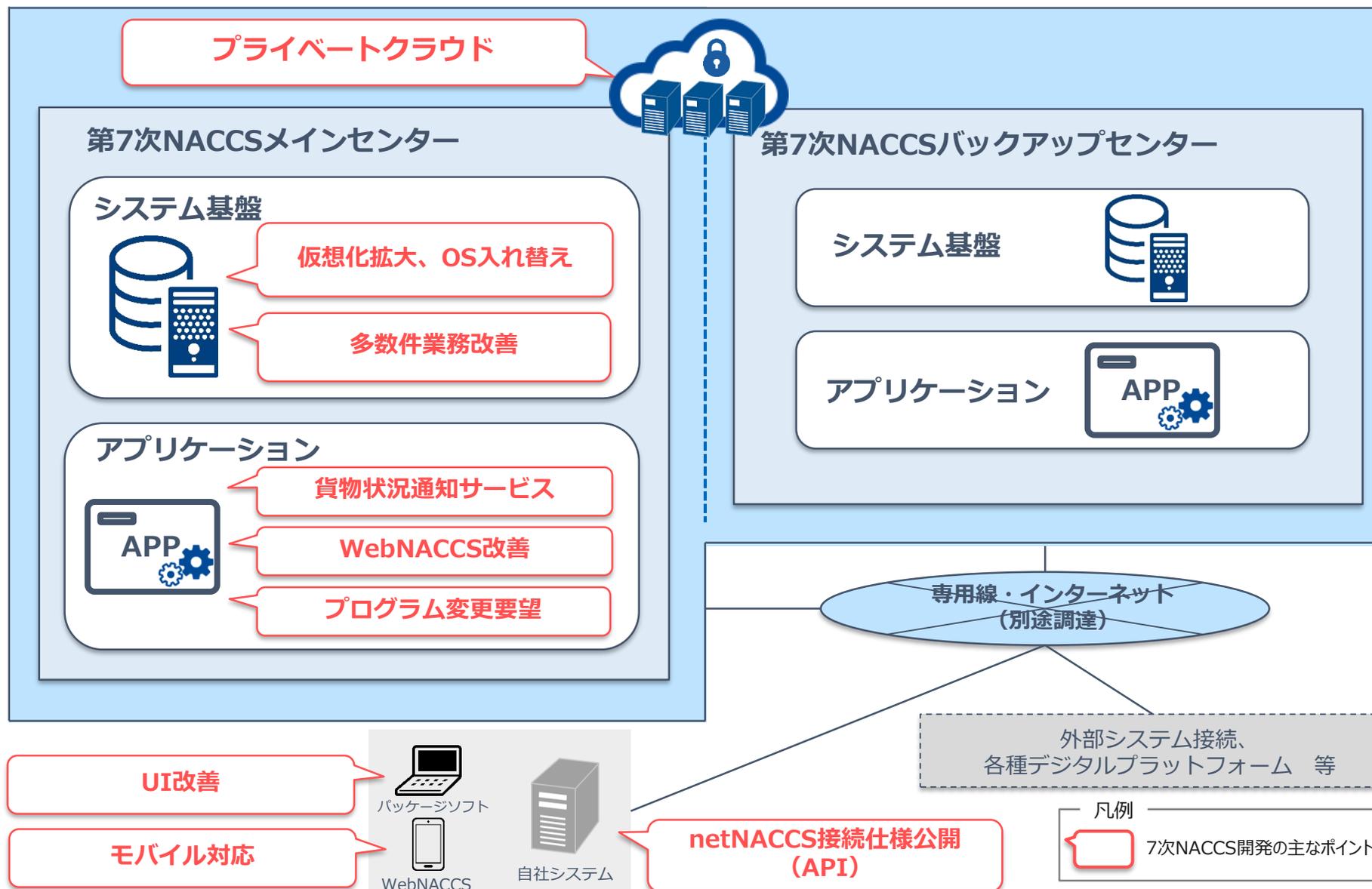
基本仕様書における以下の検討課題については、費用対効果や業務仕様等で不確定な部分が多いことから、今般の調達の対象外といたしました。

- ・オンライン業務の統廃合（SIR/EIRを除く）（基本仕様書 IV-3）
- ・貨物状況通知サービスの提供のうちNACCS非利用者向けサービス（基本仕様書 IV-7）
- ・船会社船舶受委託関係の見直し（基本仕様書 IV-11）
- ・AI技術の活用、ビッグデータ蓄積の活用（基本仕様書 V-1）

(2) 対象外とした検討課題の今後の取扱い

上記（1）の調達の対象外とした課題や、詳細仕様の検討等において新たに業務仕様の変更・追加等を行うこととなった項目については、必要に応じて追加の変更契約により対応することといたします。

第7次NACCS開発の全体イメージ (2025年10月稼働予定)



2.主な詳細仕様検討項目

No.	区分	案件名	案件概要	輸出入通関WG	海上保税・貨物WG	航空保税・貨物WG	SWG	基本仕様書
1	共通	二重出力帳票の対象拡大 (GW配下パッケージソフトの廃止関連)	二重出力 (netNACCS + 自社サーバ) 対象の帳票を拡大実施する。	○	○	○		Ⅲ-1
2	共通	非同期電文の対象見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・開庁時申告時や共同利用端末からの申告時についても、通常申告通り EXZ 型電文として申告端末に出力するように変更する。 ・申込業務に対する回答通知を EXZ 型電文として申込端末に出力する。 	○	○	○		Ⅳ-6
3	EDI	ebMS処理方式の廃止 netNACCS処理方式の接続仕様公開	<ul style="list-style-type: none"> ①ebMS処理方式を廃止する。 ②netNACCSの接続仕様を公開(API公開)する。 	○	○	○		Ⅲ-1
4	EDI	EDIFACTのバージョンアップ対応	<p>第7次NACCSでは、現行バージョンに対応した機材のサポート期間終了に伴い、自社システム (EDIFACT) 利用者への影響を考慮し、全面刷新が行われた「バージョン12」の採用を前提に検討する。</p> <p>但し、今後更に新たなバージョンがリリースされた場合には、改めて「バージョン12」の採用の可否を検討する。</p>	○	○	○	○	Ⅲ-4
5	UI・端末	NACCS のパッケージソフトのユーザー インターフェース改善	<ul style="list-style-type: none"> ・フォントやアイコンを現代的なデザインに変更し、視認性や利便性を向上させる。 ・個々の利用者用の入力チェック方法を登録できるようにする。 <p>上記のほか5件程度の改善を予定している。</p>	○	○	○		Ⅳ-2
6	UI・端末	携帯端末への対応 (港湾関連業務以外)	一部のNACCS業務について携帯端末で実施できるようにする。レスポンスデザインを採用し、利便性、視認性を高める。	○	○	○	○	Ⅲ-6 Ⅲ-7

2.主な詳細仕様検討項目

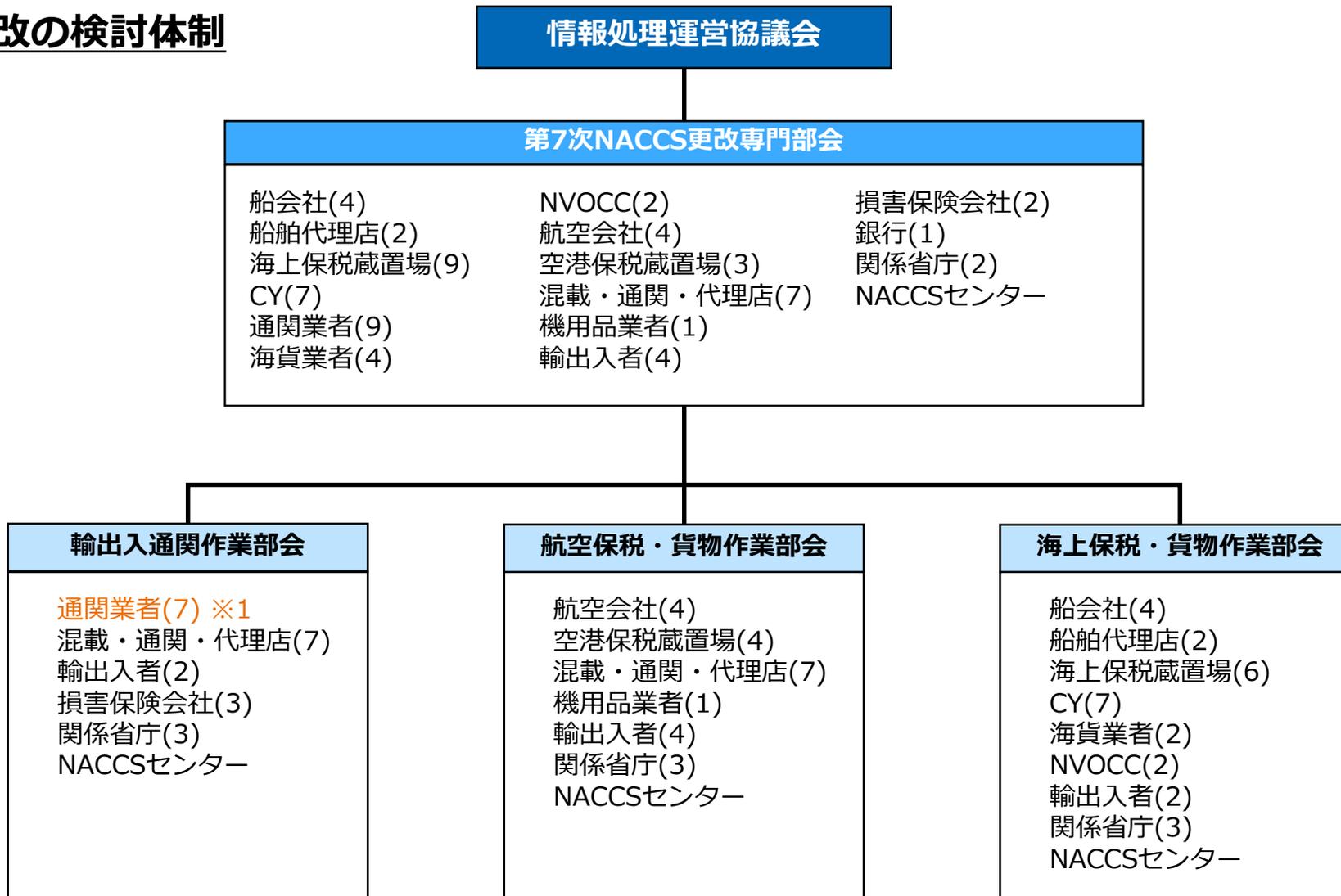
No.	区分	案件名	案件概要	輸出入通関WG	海上保税・貨物WG	航空保税・貨物WG	SWG	基本仕様書
7	通関・収納	輸入申告における多数件処理の改善	輸入申告を多数件処理する際に、現行よりも多重度を上げて、処理時間の短縮を図る。	○	○	○	○	Ⅱ-3
8	通関・収納	添付業務の変更	添付ファイルの1ファイル当たりのファイル容量及び、総ファイル容量を拡大する。	○				Ⅲ-5
9	貨物	オンライン業務の統廃合	EIR (S/I情報登録) 業務 (航空) をSIR (船積指図書(S/I)情報登録) 業務 (海上) へ統合し、海上航空共通のSIR業務に変更する。	○	○	○	○	Ⅳ-3
10	貨物	貨物状況通知サービスの提供	NACCS利用者が、貨物状況照会業務の繰り返しの実施により貨物状況を把握している点を改善するため、利用者が指定した状況となったことをタイムリーに通知する機能を提供する。(NACCSパッケージソフトにて実現)	○	○	○	○	Ⅳ-7
11	貨物	ACL (ACL情報登録) 業務の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・マーク欄、品名欄の改行を可能とする。 ・「_(アンダーバー)」、及び「@ (アットマーク)」の入力を可能とする。 上記のほか6件程度の改善を予定している。		○		○	Ⅳ-8

2.主な詳細仕様検討項目

No.	区分	案件名	案件概要	輸出入通関WG	海上保税・貨物WG	航空保税・貨物WG	SWG	基本仕様書
12	入出港	港湾関連業務（WebNACCS）の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・業務画面遷移の見直し、申請書類画面のタブ化等によりエラー表示の改善をする。 ・定期船（運航情報を使用する）と不定期船の（運航情報を使用しない）外航船業務を統合し、ユーザインタフェースだけではなく、機能についても統合を行いスリム化を図る。 <p>上記のほか6件程度の改善を予定している。</p>		○		○	IV-10
13	NSS	2段階申し込みの廃止_ユーザーデータメンテナンス化（U業務分）	<ul style="list-style-type: none"> ・利用申込の内容を変更し、2段階申し込みを廃止する。システム設定申し込みについては、設定内容をNACCSの利用者設定業務（U業務）から設定することを可能とする。 <p>上記のほか6件程度の改善を予定している。</p>	○	○	○		IV-13
14	プログラム変更要望	民間利用者のプログラム変更要望にかかる検討	民間利用者からのプログラム変要望等について上記検討項目と併せて検討する。	○	○	○		IV-1 IV-4 IV-15 IV-16 IV-17
15	プログラム変更要望	官利用者のプログラム変更要望にかかる検討	官利用者からのプログラム変要望等について上記検討項目と併せて検討する。	○	○	○		IV-14 IV-18

詳細については「別紙_詳細仕様検討項目一覧」をご参照ください。

第7次NACCS更改の検討体制

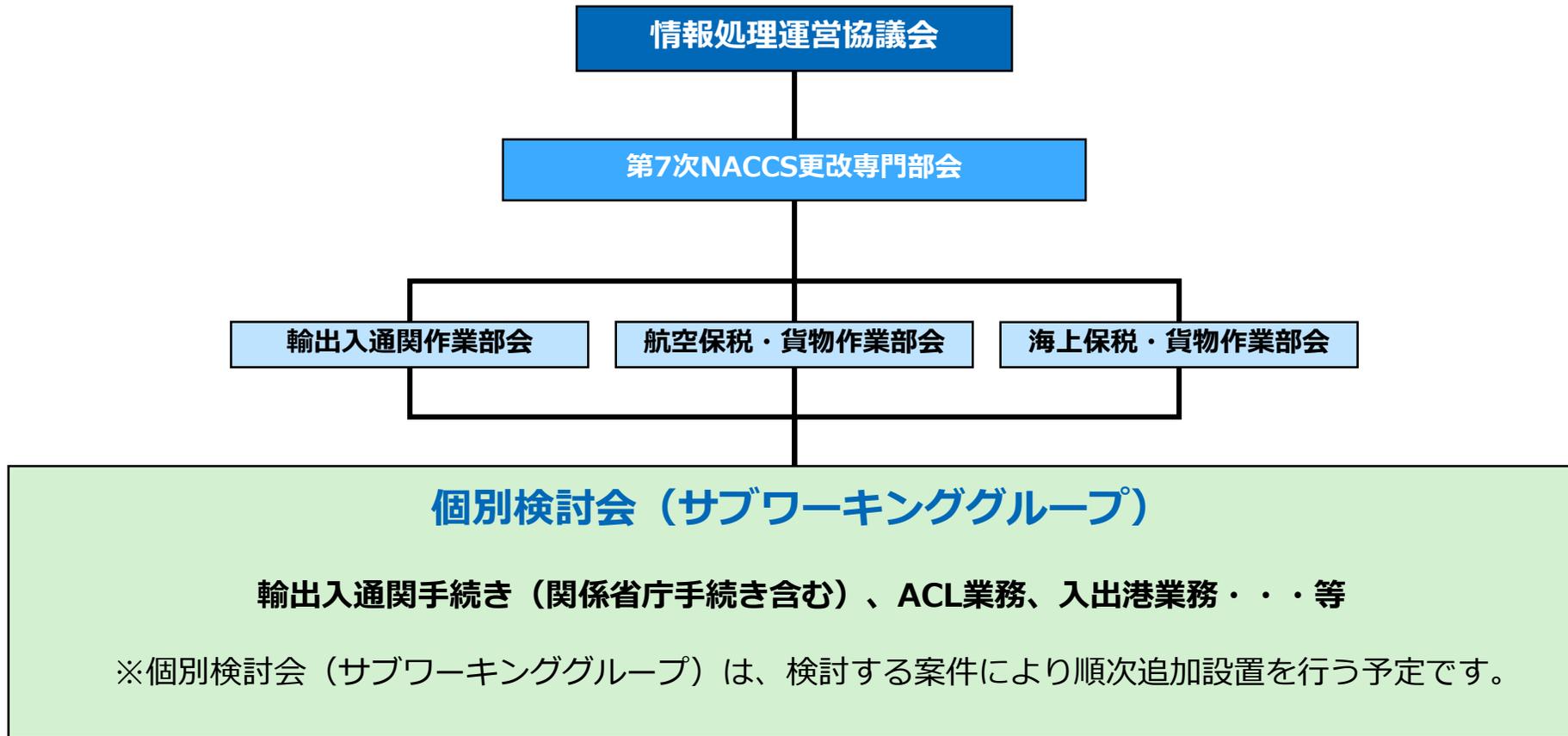


※1 通関業者を1社追加

※ () 内は委員数を表す

4.個別検討会(サブワーキンググループ)の設置

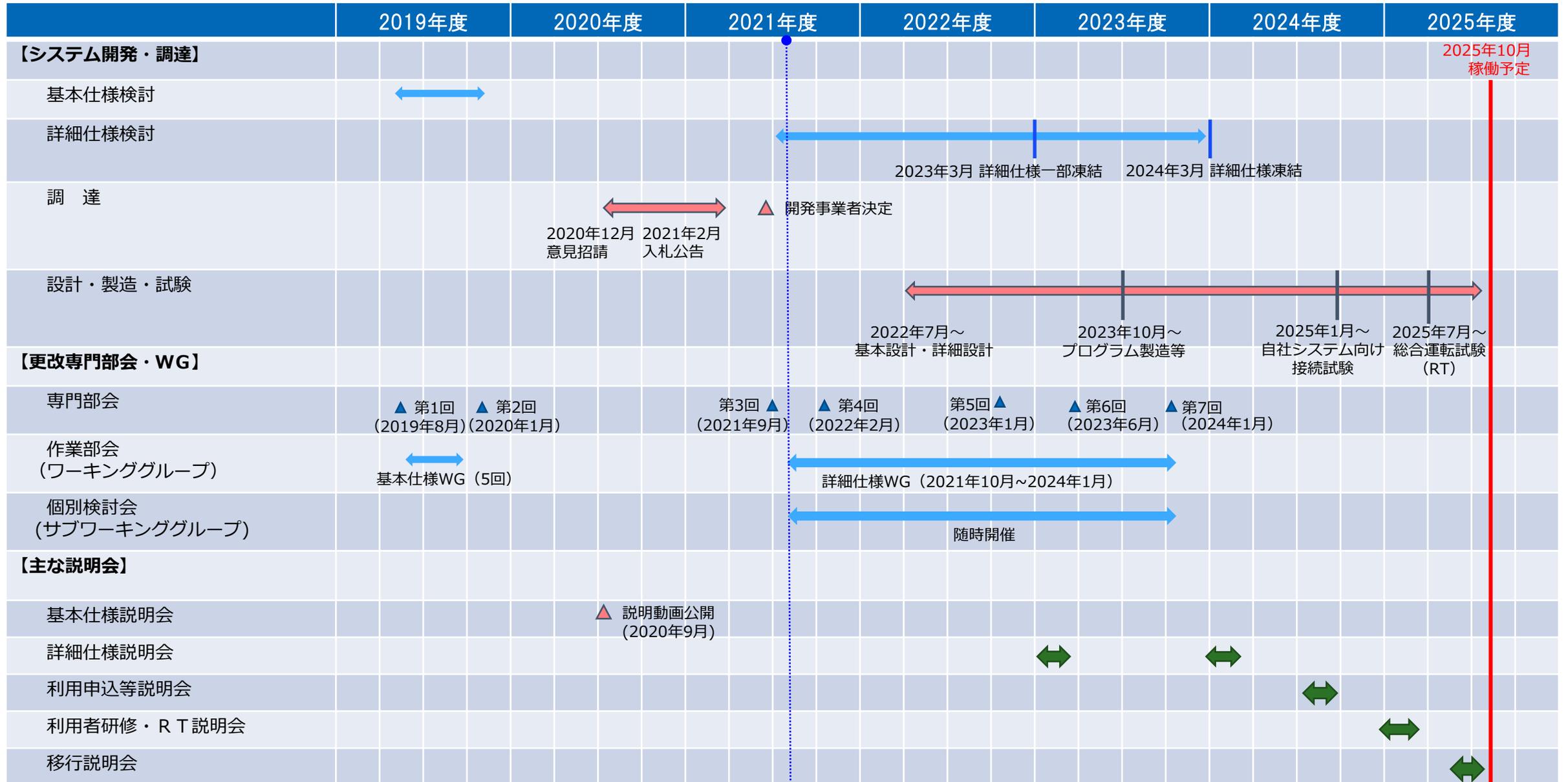
基本的には作業部会において議論を進めることとなりますが、検討する案件により、必要に応じて **個別検討会（サブワーキンググループ）** を設置し、検討を進めたいと考えております。



先日行った開催方法についてのアンケート結果より、対面での検討（会議）を望まれる声もあることは認識しておりますが、現在の新型コロナウイルス感染の状況を踏まえ、当面の間はオンライン形式でのみの会議開催とさせていただきます。今後の感染状況を注視しつつ、開催方法（対面＋オンライン形式の併用等）についても検討してまいります。

ご理解、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

6.全体スケジュール



※開催年月については、現時点での予定であり進捗状況により変更する場合があります

第3回更改専門部会 議事要旨

1. 日時：令和3年9月16日（木） 10:30～11:30

2. 場所：オンライン開催（Microsoft Teams）

3. 出席者：別紙のとおり

4. 議事の概要

(1) 部会長の交代

前部会長の異動に伴い、東京税関 津田総務部長に交代となった。

(2) 取締役挨拶

松田取締役より、委員への謝意を表するとともに、コロナ禍の緊急事態宣言のためにオンライン開催となったこと、今般、第7次NACCSの開発事業者が決定し、本格的に詳細仕様の検討を開始することについて述べた。

(3) 審議事項

①第7次NACCSの調達結果について

事務局より、議事資料1に基づき、第7次NACCS更改に関する開発事業者決定の報告を行った。

開発事業者は株式会社エヌ・ティ・ティ・データに決定し、現在契約手続きを進めている。今後、専門部会や作業部会等にて、システムの詳細仕様検討を進めることとなる。

②詳細仕様検討項目について

事務局より、議事資料2に基づき、第7次NACCS更改に関する詳細仕様検討項目について説明を行った。

今後、作業部会等にて各項目について検討を進めることとなる。

- 以前、「最新技術導入の可能性は今後詳細を検討する」と説明があったが、今回の資料に記載がない。詳細仕様検討項目に挙がっていない項目の今後の扱いはどうなるのか。（委員）
⇒最新技術導入に関しては、今後の検討を踏まえて別途契約を行い、作業部会にて提案をする流れを考えている。（事務局）
- 最新技術導入に関しては、今後、作業部会等で検討していく理解で良いか。（委員）
⇒作業部会等で皆様に提案し、ご意見をいただきながら、検討を進めていきたい。（事務局）

③ 詳細仕様検討の進め方について

事務局より、議事資料3に基づき、第7次NACCS更改に関する詳細仕様検討の進め方について説明を行った。

今回、輸出入通関作業部会にて、通関業者1社の追加推薦があったが、基本仕様と同様の検討体制とし、新たに作業部会の下部組織として個別検討会（サブワーキンググループ）を設置し、案件毎により詳細な検討を実施していく。また、開催方法に関しては、当面はオンライン形式を基本とし、今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえながら検討する。

④ 全体スケジュールについて

事務局より、議事資料4に基づき、第7次NACCS更改に関する全体スケジュールについて説明を行った。

今回の更改では、第6次NACCS更改時の反省点を踏まえ、より深い議論をするため、詳細仕様の検討の期間を約2年半に延長した。

(4) 連絡事項

- ・令和4年4月の請求分より既存の郵送を完全廃止しWEBからダウンロードする形式へ変更する。詳細はNACCS掲示板を参照頂きたい。
- ・今回はオンライン形式での会議開催となったが、更に円滑に会議を運営するため委員の皆様からアンケートにて改善点があればご意見を頂きたい。
- ・第6回作業部会は、令和3年10月14日（木）に開催する方向で調整している。

以上

No.	議題内容に関するご意見・ご質問	回答
1	会議後業界への周知後1週間以内の質問・コメント収集では期間が短すぎます。特に来週は祝日が2日あるため現実問題として困難です。	今後は原則2週間を目途に期間を設定させていただきます。今後連続してWG等を開催して行く予定となっているため、それでも対応困難な場合は、個別に調整させていただきます。
2	NACCSも成熟している為、業務に関して大きな仕様変更は無いものと考えています。今後、サイバーポート等の大型PFとの連携について、しばらく様子を見る必要はあるが、検討していく必要があるのではと考えます。	ご意見を踏まえ検討を進めてまいります。各種PFとの連携については状況を注視し、必要に応じて検討してまいります。
3	「AI技術の活用、ビックデータ蓄積の活用」は調達対象外とされたとのことですが、基本仕様書「V-1. 最新技術の導入の可能性」の全てが調達対象外とされたのですか。それとも、「V-1. 最新技術の導入の可能性」のうちで調達対象となった事項がありますか、ある場合には、具体的などのような内容ですか。	調達時点では要件未確定のため、対象外としましたが、AI等は継続して検討しており、今後、WG等でご提案し、ご意見をいただきながら、導入可否や利用料金含め、検討してまいります。
4	2023年3月に詳細仕様一部凍結、2024年3月に詳細仕様凍結と、2段階で凍結とのことですが、2023年3月の一部凍結では、どのような分野又は項目が対象となるのですか。2023年3月と2024年3月とで、凍結の対象にどのような振り分けがあるのですか。	今回提示した案件は2023年3月に仕様凍結をする予定です。2024年3月の凍結タイミングは法改正等、追加的な案件を含め第7次NACCSの案件すべてが仕様凍結となります。
5	個別検討会(サブワーキンググループ)を検討する案件により順次追加設置予定とありましたが、現時点の専門部会委員及び作業部会委員の中から選任になりますか、それとも新たに選任となりますか。	基本的には、個別検討が必要となった案件については、サブワーキング等を設置し、その案件に係る委員の方に第6次NACCS更改時同様に出席いただき議論することを想定しておりますが、案件によっては関係する業種の方々と幅広く意見交換会を開催してご意見を聞かせていただく予定です。
6	「調達対象外の検討課題」受委託関係の見直しを調達対象外にされたとのことですが、これは基本仕様検討の際に検討不要と申しあげましたので、復活させる必要は全くなく対象外のみで結構です。	ご意見を踏まえ検討を進めてまいります。本課題については、調達対象外としておりますが、今後、受委託関係の論点を整理をさせていただき予定としておりますのでご協力よろしく申し上げます。

No.	議題内容に関するご意見・ご質問	回答
7	ワーキンググループ、サブグループの構成メンバー、招集方法がよくわからなかった。	各案件に関係する業種の作業部会委員の方へ出席をお願いすることとなります。
8	特段意見はありません。現在色々な貿易システムのコンソーシアムが出来てきている中でも、貴所システムが基軸となるものと思っております。	ご意見を踏まえ検討を進めてまいります。
9	申告一覧データの改変に関して、現在代表税番4または6桁表示となっているが、代表税番に該当する欄の9桁（10桁）が出力するようにしてほしい。	ご意見を踏まえ検討を進めてまいります。
10	申告する税番に対して（申告する税番のどれかが）他法令未取得の場合は、ワーニングメッセージを発するようにしてほしい。	ご意見を踏まえ検討を進めてまいります。
11	携帯端末への対応に関して これは新しい試みですが、通関業法に抵触しない、入出港関連手続きや関連業務が対象でしょうか？	ご認識の通りです。 現在WebNACCSで提供している海上・航空の情報照会系業務及び、海上入出港関連業務を中心に検討を進めて参ります。
12	輸入申告における多数件処理の改善に関して、これは多重度を上げて処理時間の短縮・・・輸入申告を一度に10件、とか20件一括送信したら時間が掛かっていたがシステムの処理速度が速くなって申告結果（区分1, 2, 3）が早く分かる・・・という感じでしょうか？輸出では一度に10件、20件一括送信することはありますが、輸入は経験がないのでピンときませんでした。	小口貨物の増加に伴い、現行NACCSにおける輸入申告における多数件処理（自動起動）について、業務処理が遅延する事象が生じていることから、現行NACCSにおいて一部改修を行いました。更なる小口貨物の増加に備えて改善策を検討する予定です。詳細につきましては、今後のWG等にてご説明させていただきます。
13	貨物状況通知サービスの提供に関して、これは以前から要望が多かった、保税の搬入がされたら通知がくる仕組みのことですね。 ICGの内訳で言うと積荷目録提出、CY搬入、税関審査処理等全部が通知されても邪魔くさい感じがしますが、利用者で選択できるのでしょうか？（例：貨物搬入、税関審査終了だけ通知）	ご認識の通りです。 今後、貨物状況通知サービスについては、サービスの具体的内容、対象業務、通知のタイミングなどについて、WG等でご意見をいただきながら進めて参ります。